

自分に起こった出来事(事けん)を調べよう 三年)

○ 実に自分に起こった出来事(事けん)を思い出し、れいに
ならって左の表の中に書いてみましょう。たくさん思い出し、物語
づくりのさんこうにしましょう。(ぜんぶ書かなくてもいいです。)

<p>れい</p> <p>つくえの引き出し のかぎをなくし、 おこづかいが取り 出せなくなった。</p>	<p>自分出来事①</p>
<p>自分の出来事②</p>	<p>自分の出来事③</p>

「三年とうげ」 李 錦玉 作
リ クムオキ

めあて

「三年とうげ」を読んでかんそうを話し合い、学習することを決めよう。

おもしろいところ

わけ

○ おじいさんの様子

- ・「おいおいなきました。」
- ・「ころりん、ころりん…… わらいました。」

○ 二つの歌

- ・「三年とうげで……」
- ・「えいやらや……」
- ・「へん転べば三年で……」

○ 組み立て

- ・おじいさんが転ぶ。始めと終わりで様子がちがう。
- ・歌ったのはだれだったか。

- ・言い伝えを信じているから。元気になったから。

- ・リズムが楽しい。
- ・二つの歌の意味が反対。
- ・長生きできるから。

- ・始めに転んだら病気になるのに、後で転んだら、元気になったから。
- ・クイズみたいだから。

学習かだい

感想を自由に発言させる。教師が分類整理をしながらか板書する。

組み立てを考えて物語を書こう。

【1 / 12 時間目 指導略案】 使用するワークシート①

活動のねらい

初発の感想を交流させ、学習課題を決めることができるようにする。

1 学習の見通しをもつ。

- ① 今までに読んだり聞いたたりした民話・昔話や物語を思い出し、その組み立てについて考える。

- 既習の教材文（お手紙、スイミーなど）の挿絵を並べ換えさせるクイズなどを出しながら、物語の組み立てに興味をもたせ、教材文につなげる。

② 教材文の読み聞かせを聞き、初発の感想を書く。

- ・ おもしろいと思ったところ
- ・ 心に残った言葉
- ・ 話の組み立てなど

2 感想を交流し合い、学習の課題を決める。

【発問】おもしろいところや心に残った言葉を発表しましょう。また、そのわけも説明しましょう。

- 児童の感想は、「おじいさんの様子」「二つの歌」「組み立て」に分類し、そのわけも板書する。

- 「三年とうげのぬるでの木のかげで、歌ったのはだれだったのか。」「なぜ、おじいさんは元気になったのか。」「などの感想から、物語の内容を詳しく読み取る必要性を感じさせる。また、「作者のようにおもしろい物語を書きたい」などの感想があれば、取り上げて書く活動へつなげ、なければ意図的に書く活動へつなげて課題意識をもたせる。

評価 学習課題を決めるために、進んで話し合おうとしている。

3 本時を振り返り、次時について知る。

- 次時は、本時の学習を基に学習計画を立てることを知らせる。

めあて

Blank box for writing the goal (めあて).

一 かんそうを書きましょう。

二 かんそうをもとに学習したいことを書いて、話し合しましょう。

Large rounded rectangular box for writing the first step (writing the opinion).

Large rectangular box with a folded bottom-right corner for writing the second step (writing what to study).

三 学習すること(学習かだい)を書きましょう。

Blank rectangular box for writing the third step (writing the learning topic).

四 今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

Vertical box for reflection, containing a legend and a question.

進んで話し合い、学習することを決めることができましたか。
下のはまるものに○をつけましょう。



組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作
リ クムオキ

組み立てを考えて、物語を書くための学習計かくを立てよう。

出来事をもとにして、組み立てを考えて物語を書こう。		「三年とうげ」をくわしく読み、場面の組み立て方を考え、書き方を学ぼう。				学習計かくを立てよう。
1	3	2	1	1	1	1
できたあがった物語をみんなで読み合い、かんそうをつたえあおう。	「三年とうげ」で学習した書き方を生かして、物語を書こう。	時・場所・登場人物などを決め、物語の中心となる出来事から考えを広げたり、関係づけたりしよう。	他にも同じような組み立てのみん話・むかし話や物語がないか、思いだしたり、さがしたりしてみよう。	後半の部分に、何がどのように書かれているか読み取ろう。	前半の部分に、何がどのように書かれているか読み取ろう。	めあてを決めて、学習計かくを立てよう。 あらすじをまとめよう。

【2 / 12 時間目 指導略案】

使用するワークシート②

活動のねらい

課題を解決するための学習計画を話し合わせ、見通しをもたせるようにする。

1 学習課題を確認する。

学習課題

組み立てを考えて物語を書こう。

2 課題を解決するための学習について話し合う。

※本活動は、三年生の発達の段階を考慮し、教師主導で計画の立て方を教えていくように設定しています。課題解決に必要な「物語を書く」活動と、書くために必要な「物語の書き方を学ぶ」活動について子どもたちの考えや言葉を取り上げながら計画を立てていきます。また、板書が終了した後、ワークシートに書き写させます。

【発問】組み立てを考えて物語を書くためには、「三年とうげ」で、どんなことを学習していけばよいでしょうか。

- ① 物語がどのように組み立てられているかを考えながら、「三年とうげ」を読む。
- ② 「はじまり」「出来事が起こる」「出来事が変化する」「むすび」の四つの組み立てと、それぞれの場面の表現や話の展開のおもしろさに着目して読んでいくことを確認する。
- ③ 組み立てを考えて物語を書く方法を考える。
- ④ 他の物語で四つの組み立てを確かめながら読む活動、「三年とうげ」で学習したことを参考に物語を作る活動、書いた物語を友だちに紹介する活動を行っていくことを確認する。

評価 学習計画について進んで話し合い、学習の見通しを計画表に書いていく。

3 本時を振り返り、次時について知る。

- 本時の感想を発表する。次時は、あらすじマップに、物語全体の大まかな組み立てを読み取っていくことを確認する。

組み立てを考え物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

「三年とうげ」がどのように組み立てられているかを考え、「あらすじマップ」にまとめよう。

【あらすじマップについて】

○目的 自分の物語を書く時の組み立てメモにつながるよう、「三年とうげ」でマップにまとめ、あらすじをとらえさせる。
 ○使い方 ①④の場面に合わせて記入させ、②で起きる出来事を中心に物語が展開することを記入しながら確認させる。自分の物語を書く時も利用させる。

- ① はじまり(時)
- ② 出来事の起り(時、人物、どのように、なぜ)
- ③ 出来事の変化(何を思いついた)
- ④ むすび(最後どうなった)

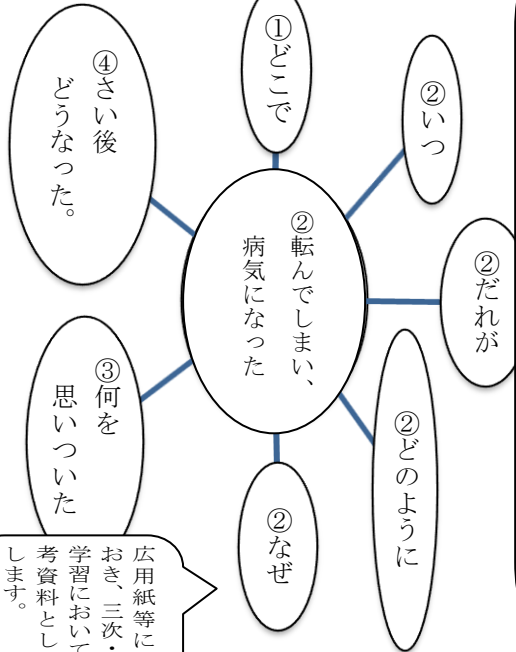
書き方の例

ため息が出るほどよい眺め

あまり高くない、なだらかなとうげ

三年とうげ

言いつたえ



広用紙等を書いておき、三次・四次の学習においても、参考資料として提示します。

3 / 12 時間目 指導略案 使用するワークシート③
 活動のねらい

「三年とうげ」の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を、あらすじマップに整理しながら読むことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に、本時は、「三年とうげ」を読んで、物語の大体の内容をあらすじマップを使って考え、物語全体の組み立てをとらえていくことを確認する。

2 「三年とうげ」の全文を読み、四つの場面に分けて構成を確認する。

① 「三年とうげ」を読んで場面分けをする。
 ○ 時を表す言葉や登場人物の様子の変化などを話し合いながら、四つの場面に分け、「はじまり」の部分、「出来事(事件)が起こる」部分、「出来事(事件)が変化する」部分、「むすび」の部分の四つで構成されていることを確認する。

3 「三年とうげ」のあらすじマップを書く。

① 「いつ」「どこで」などの事柄を読み取ってあらすじマップに書き入れ、結び付けていく。
 ② 「はじまり」は①、「出来事が起きる」部分は②、「出来事に変化する」部分は③、「むすび」の部分は④という場面の数字をマップに書き入れる。
 ○ まずは、一人で読み取らせていき、後で、学級全体で物語を読み取っていきながら確かめ合い、あらすじマップをいっしょに作っていくようにする。

評価 物語の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を、あらすじマップに整理しながら読んでいく。

4 本時を振り返り、次時について知る。

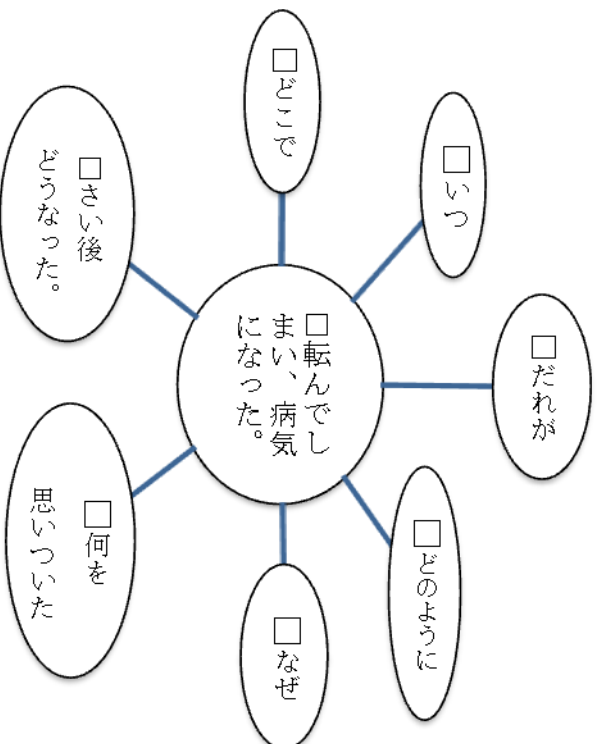
○ 次時は、前半の部分を読み取っていくことを確認する。

組み立てを考えて物語を書こう③ (三年)

(

めあて

一 「三年とうげ」を読んで、出来事を中心に、「いつ」「どこで」などを書きだそう。



二 今日の学習をふりかえりましょう。

◎ よくできた

○ だいたいできた

△ もう少し

出来事を中心に「いつ」「どこで」などを書き出し、関係づけることができましたか。

◎

○

△

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

前半の部分に、何がどのように書かれているかを読み取る。

① はじまり

〈何が〉

〈どのように書かれているか〉

三年とうげ全体
が分かる絵

春 すみれ
たんぽぽ
ふでりんどう
れんげつつじ
かえで
がまずみ
ぬるでの葉
すすき

秋

- 物語がくり広げられる「場」。(時・場所・人物など)のしようかい。
- 美しいとうげのけしきを表す言葉。

場所 「三年とうげ」

② 出来事(事件)が起きる。

〈何が〉

〈どのように書かれているか〉

おじいさんが、
転んでいる絵

顔 真っ青
動作 立ち上がる
足を急がせた。
たがたふるえる。
おいおいなく。

おじいさんの様子
まわりの人の様子

ごはんも食べ…
医者を呼ぶやら、
…やら…しました。

- 中心人物がこまることやしぎなこと、意外なことなどが起きること
- 人物の気持ちを表す言葉。
立つ上がる
立ち上がる

時 「ある秋の日」

だれが 「おじいさんが」

出来事 「転んでしまい、病気になる。」
なぜ 「石につまずいて転ぶ。」

【4/12 時間目 指導略案】 使用するワークシート④

活動のねらい

前半の部分に、作者が何をどのように書いているかを読み取らせる。

1 学習計画表から本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

- 「はじまり」と「出来事(事件)が起きる」部分を読んで、作者が何をどのように書いているかを調べさせる。

2 「はじまり」の部分を読み、書き方を考える。

- ① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

【発問】「はじまり」の部分には、どんなことが書かれているでしょう。

- ・ 三年とうげとよばれるとうげがあること
- ・ 三年とうげの様子
- ・ 三年とうげには、昔から言い伝えがあることなど

- 発表を黒板に整理し、作者は、物語が繰り広げられる「場」を紹介して書いていることをおさえる。

② どのように書かれているか、表現の工夫を考える。

- ・ 春には・・・がさきみだれ、秋には・・・が美しく色づきました。

□ 美しいとうげのけしきを表す言葉。(色彩)

3 「出来事が起こる」部分を読み、書き方を考える。

- ① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

- 作者は、中心人物が困るという設定を書いていることをおさえる。
- ② どのように書いているか、表現の工夫を考える。
- ・ 立つ上がる↓立ち上がる

- 複合語や人物の気持ちを表す顔つきや動作。

評価 前半の部分に、作者が何をどのように書いているかをワークシートに整理しながら読み取っている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

- 次時は、後半の部分を読み取っていくことを確認する。

組み立てを考えて物語を書こう④ 三年

めあて

①「はじまり」の部分には、何をどのように書いているでしょう。

① はじまり

〈何を〉

※三年とうげ全体の様子分かる絵を貼ってください。

〈どのよう〉

②「出来事が起こる」の部分には、何をどのように書いているでしょう。

② 出来事（事件）が起きる。

〈何を〉

※おじいさんが転んでいる絵を貼ってください。

〈どのよう〉

③ 今日の学習をふりかえりましょう。

◎できた ○だいたいできた △もう少し

「はじまり」と「出来事が起こる」の部分を読み取り、書き方を考えることができましたか。



組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

後半の部分に、何がどのように書かれているか読み取ろう。

③ 出来事（事件）がへん化する。

（何が）

水車屋のトルトリの登場

「おいらの言うとおり

すれば、おじいさん

の病気はきつとなおるよ。」

「なおるとも。…。」

トルトリを拡大した絵

（どのように）

○ 新たな人物が

登場し、解決に向か

う言葉を言う。

□ 会話を表す文

何を思いついた 「三年とうげでもう一度転ぶこと。」

④ むすび

（何を）

動作 はね起きる

わざとひっくり

かえり、転ぶ。

とうげからふもとまで

転がり落ちてしまった。

顔 けろけろけろっとした

□ 終わり方

くしたというこ

○ 出来事がかい決

する。

（どのように）

さい後どうなった

「三年とうげで何度も転び、元気になって、幸せにくらした。」

読者への問いかけ

聞こえてきた歌は、だれが歌っていたのか？

【5 / 12 時間目 指導略案】 使用するワークシート⑤
活動のねらい

後半の部分に、作者が何をどのように書いているのかを読み取らせる。

1 学習計画表から本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 「出来事（事けん）が変化する」部分と「むすび」の部分を読んで、作者が何をどのように書いているかを調べさせる。

2 「出来事が変化する」部分を読み、書き方を考える。

① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

【発問】「出来事が変化する」部分には、どんなことが書かれているでしょう。

・水車屋のトルトリが、みまいに来ました。

・「おいらの言うとおりにすれば…、きつとなおるよ。」

○ 発表を黒板に整理し、作者は、新たな人物を登場させ、解決に向かう言葉を言うように書いていることをおさえる。

② どのように書かれているか、表現の工夫を考える。

・「なおるとも。三年とうげで、もう一度転ぶんだよ。」

□ 会話を表す文。

3 「むすび」の部分を読み、書き方を考える。

① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

○ 作者は、出来事（事件）が解決するように書いていることをおさえる。

② どのように書いているか、表現の工夫を考える。

・「くしたということです。」

□ 民話・昔話によく使われる終わり方。（読者への問いかけ）

評価 後半の部分に、作者が何をどのように書いているかをワークシートに整理しながら読み取っている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、同じような組み立ての物語があるか調べることを確認する。

めあて

一 「出来事がへん化する」の部分には、何をどのように書いているでしょう。

③ 出来事がへん化する

〈何を〉

※トルトリの絵を貼ってください。



〈どのよう〉

二 「むすび」の部分には、何をどのように書いているでしょう。

④ むすび

〈何を〉

※おじいさんが楽しそうに転んでいる絵を貼ってください。



〈どのよう〉

三 今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

「出来事がへん化する」と「むすび」の部分を読み取り、書き方を考えることができましたか。



組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李リ 錦玉クムオキ 作

「三年とうげ」と同じような組み立ての物語があるか調べよう。

		もも太郎	三年とうげ
④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ① もも太郎とよばれる男の子が生まれる。 おにがあげられ、村人をこまらせる。 きじとさると犬を仲間にして、おにたいじに向かう。 おにをたいじして、幸せにくらす。	④ ③ ② ① 三年とうげのしようかいと言ひ伝えがあつた。 おじいさんがとうげで転び、心配で病気になる。 トルトリは、おじいさんとうげで何度も転ぶようにすめる。 トルトリの言うことを実行して、おじいさんは元気になる。

児童が調べた物語の組み立てを必要に応じて板書する。

【6/12 時間目 指導略案】 使用するワークシート⑥

活動のねらい

物語が「三年とうげ」と同じような組み立てで書かれていることをとらえることができるようにする。

1 学習計画表から本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に、「三年とうげ」の他にも同じような物語がないか、思い出したり、探したりして、調べたことを発表することを確認する。

2 「桃太郎」の組み立てを全体で話し合つて考える。

① 学習活動の見直しをもつために、みんなが知っている物語を取り上げ、全体で話し合いながら、組み立てを考える。

【発問】昔話「桃太郎」が、どのように組み立てられているか考えてみよう。

- ・ 桃太郎と呼ばれる男の子が生まれる。
- ・ 鬼が暴れ、村人を困らせる。
- ・ きじとさると犬を仲間に加え、鬼退治に向かう。
- ・ 鬼を退治して、幸せに暮らす。

○ 一つの物語の組み立てを一緒に考えながらワークシートに書いていくことで、自分がこれまでに読んだ他の物語に似たところがないか思い出させたり、四つの構成がとらえやすいことに気付かせたりする。

3 調べた物語の組み立てを紹介する。

① 調べた物語の組み立てを発表する。
○ 作者は、出来事（事件）が解決するように書いていることをおさえる。

評価 物語が「三年とうげ」と同じような組み立てで書かれていることをとらえている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、自分の物語のあらすじマップを書いていくことを確認する。

組み立てを考えて物語を書こう⑥ (三年)

めあて

一 これまでに読んだ物語で、「三年とうげ」と同じような組み立てがあるか考えて書こう。

三年とうげ		
<p>① 三年とうげとよばれるとうげがあり、言い伝えがあった。 ② おじいさんがとうげで転び、心配で病気になる。 ③ トリトルはおじいさんとうげで何度も転ぶようにすすめる。 ④ トリトルの言うことを実行して、おじいさんは元気になる。</p>	<p>④ ③ ② ①</p>	<p>④ ③ ② ①</p>

二 今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

「三年とうげ」の組み立てと同じような組み立てのものがあるか話し合うことができましたか。

◎

○

△

組み立てを考えて物語を書こう

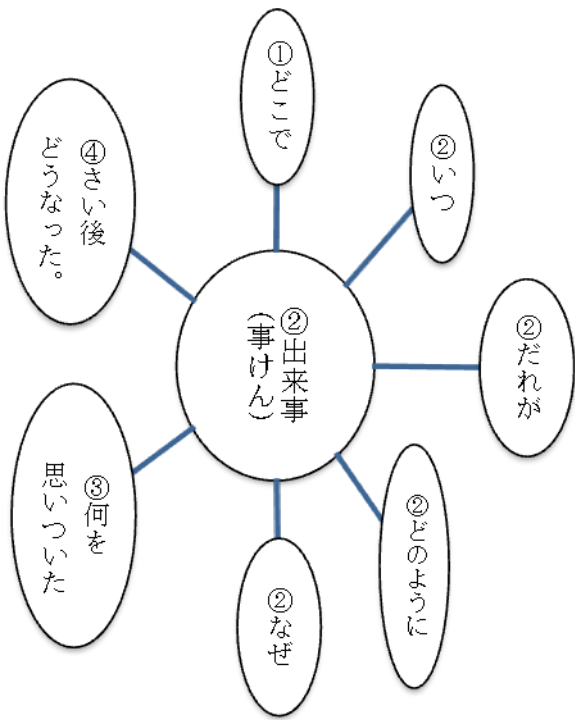
めあて

「三年とうげ」

李 錦玉 作

自分の物語のあらすじマップをつくろう。

※「時」「場所」「人物」「出来事」に当てはまるような言葉の例をいくつか黒板に提示し、悩んでいる児童の参考にさせる。



【7/12 時間目 指導略案】 使用するワークシート⑦
活動のねらい

自分の物語に必要な事柄を選び、あらすじマップに書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に、本時は、出来事を決め、物語に必要な事柄をあらすじマップに書き出し、物語づくりの準備をしていくことを確認する。

2 「三年とうげ」のあらすじマップを基に、学習の見通しをもつ。

① 三時間目の学習を思い出し、自分の物語づくりにあらすじマップが生かされないか話し合う。

○ 「三年とうげ」の大事な事柄をあらすじマップで読み取っていったことを、ワークシート③を基に想起させ、あらすじマップが生かされないかを考えさせる。

3 自分の物語のあらすじマップを書く。

① 事前にリサーチしたプリントや思いついた事柄を基に、あらすじマップを書く。

○ 事前にリサーチしたプリントや「時」「場所」「人物」「出来事」に当てはまる言葉の例をいくつか黒板に提示し、児童が考えるときのヒントにさせる。

4 自分の物語のあらすじマップを紹介する。

① 自分の物語のあらすじマップを友だちに紹介する。
○ 書き上がった児童から二〜三人で、あらすじマップを紹介し合い、物語の想像を広げさせたり、自分の物語の全体をとらえ直させたりする。

評価 物語の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を選び、あらすじマップに整理しながら、書いている。

5 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、自分の物語の組み立てメモを書いていくことを確認する。

組み立てを考えて物語を書こう⑦ 三年)

めあて

Blank box for writing the goal (めあて).

〈れい〉

時

昔 今 未来
春 夏 秋 冬
朝 昼 夜

場所

山 学校 図書館
川岸 公園 家
海の中 スーパーマーケット
未来都市 月世界

出来事

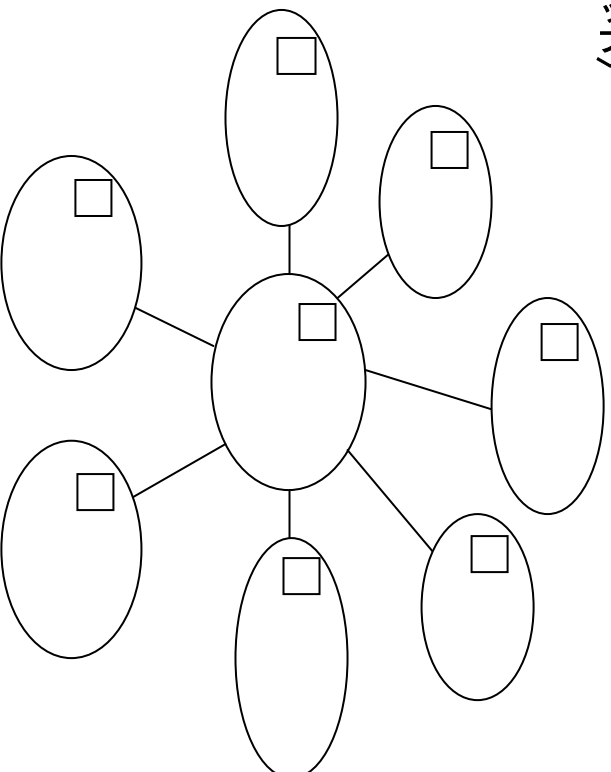
- ・けがをした。
- ・ねこを拾った。
- ・茶わんがわれた。
- ・かぎがなくなった。
- ・サッカーの試合に勝った。

人物

おじいさん おばあさん
自分 小さな子 同級生
犬 ねこ
人形 自動車
さむらい うちゅう人

一 出来事を中心に、「いつ」「どこで」などを書き出し、考えを広げたり関係づけたりしましょう。

〈あらすじマップ〉



二 今日学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

物語の組み立てを考えて、あらすじマップを書くことができましたか。



組み立てを考えて物語を書こう

めあて

場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てを考えてメモを作ろう。

三年とうげ	
①	三年とうげのしようかいと言ひ伝えがあつた。
②	おじいさんがとうげで転び、心配で病気になる。
③	トルトリは、おじいさんにとうげで何度も転ぶようにすめる。
④	トルトリの言うことを実行して、おじいさんは元気になる。

組み立てメモの例

④	三人は、太郎の兄が自転車にのっているのを見つけた。	
③	友だち二人に話すと、たんでいだんを作つてさがそうということになる。	
②	帰ろうとすると、自転車おき場においでいた自転車がない。	
①	九月の土曜日、太郎は、自転車にのつて、スーパーマーケットに入った。	
	文でかんたんにせつ明しよう。	絵をかくなら

多くの民話のように、絵をかくなら、どんな絵をかくのかを三年とうげを参考に考えさせます。

【8 / 12時間目 指導略案】 使用するワークシート⑧
活動のねらい

あらすじマップを基にして、場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てメモを書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ あらすじマップから前時の学習を振り返り、本時は、物語の組み立てメモを作り、書くための準備をしていくことを確認する。

2 物語の組み立てについて話し合ったことを振り返り、学習の見通しをもつ。

① 学習活動の見通しをもつために、「三年とうげ」や他の物語の組み立てに共通する四つの場面構成があつたことを思い出す。

○ ワークシート④・⑤・⑥を基に振り返らせることで、場面の違いを想起させ、そのうつりかわりに気付かせていくようにする。

3 場面のうつりかわりを考えながら、自分の物語の組み立てメモを作る。

① あらすじマップに書かれている「いつ」「どこで」などの事柄を基に、組み立てメモを書く。

② 早く終わった児童は、さし絵をかんたんにかく。

○ 児童の学習状況を把握し、組み立てメモになかなか書けない場合は、教師が、組み立てメモの例を提示して、参考にさせる。

評価 あらすじマップを基にして、場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てメモを書くことができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 学習計画表を基に、次時は、物語のはじまりと出来事が起きる部分を書いていくことを確認する。

組み立てを考えて物語を書こう⑧ 三年)

一 あらすじマップに書き出したことごとがらをつないで文にし、かんたんな絵をかいて、組み立てメモをつくりましょう。

〈組み立てメモ〉

				①はじまり	☆文でかんたんにせつ明しよう。
				②出来事の起こり	
		③出来事のへん化			
	④むすび	かいけつ			☆かんたんな絵
その後					

二 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎できた ○だいたいできた △もう少し

出来事を中心に「いつ」「どこで」などを書き出し、関係づけ、組み立てメモを書くことができましたか。



組み立てを考えて物語を書こう。

めあて

場面のつながりを考えて、○○○○の部分の文章を書こう。

気を付けたいこと

書く内容と表現の工夫のポイント

例【 時目】

- ・ 新たな登場人物
- ・ かい決に向かう言葉
- ・ 会話文

組み立てメモの例

前時に書いた組み立てメモで必要な場面だけを提示。

文章の例

ここは、学級の実態に合わせて書きましょう。

見直しのポイント

- 漢字や言葉のまちがいはないか。
- 句読点や「」などのつかい方。
- 場面のつながりはよいか。

【9～11時間目 指導略案】

原稿

※原稿は、下書きと清書兼用です。

場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、文章に書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 物語を書く手順として、「はじまり」と「出来事が起こる」部分で一時間、「出来事が変化する」部分で一時間、「むすび」の部分と推敲で一時間という時間の見通しをもたせる。

2 組み立てメモを基に、原稿に文章を書く。

【9時目】

① 組み立てメモの「はじまり」と「出来事が起こる」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

【10時目】

② 組み立てメモの「出来事が変化する」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

【11時目】

③ 組み立てメモの「むすび」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

○ 場面ごとに気を付けたいこと、組み立てメモ、文章の例を黒板に提示して原稿に文章を書くときの参考にさせる。

3 推敲をする。

① 下書きを読み直し、推敲する。

○ 全体を読み返し、漢字や句読点、符号、場面のつながりなどを見直させる。

4 清書をする。

評価 場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、文章に書いている。

5 本時を振り返り、次時の学習を知る。

だい名

作者名

絵を入れたいときは、
ここに書きましょう。

感想カード

感想カードは、切り取って使ってください。必要に応じて
拡大して印刷をするといいでしょう。

ゆきく

ゆき

ゆきく

ゆき

ゆきく

ゆき

ゆきく

ゆき

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

友だちの物語を読んで、よさを見つけよう。

「三年とつげ」

李^リ 錦玉^{クムオキ} 作

友だちの作品を読んで、感想を交流しよう。

- 物語のつながりのよさ
- 書き表し方のくふう

① 友だちの物語を読む。

② 感想カードを書く。

③ 感想カードに書いたことを発表する。

・ 登場人物

・ じけん

・ かいけつのはしかた

・ むすび

※交流の際に出てきた児童の感想については、ある程度分類して板書すると、一人一人の違いに気付かせる際に便利です。

【12 / 12 時間目 指導略案】 原稿と振り返りカード
活動のねらい

友だちの物語を読んだ感想を書き、考えを交流することを通して、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 書いた物語を読み合い、感想を交流することを確認する。

2 物語を読んだ感想を交流する。

① 友だちが書いた物語を読み、感想をカードに書く。

○ 感想カードを用意し、物語のつながりのよさや表現の工夫を書かせる。

※ 児童の実態に応じて、物語のつながりやよさ、表現の工夫が理解できない場合は、「作品（物語）のよいところを見つける」という視点で感想を書かせる方がよいでしょう。

② 感想カードを基に、友だちの物語を読んだ感想を発表する。

○ 同じ友だちが書いた物語でも、一人一人感じ方が違うことに気付かせる。

※ 交流のさせ方については、学級の実態に応じてペアでの交流や三、四人のグループでの交流、全体での交流などを組み合わせて取り組ませるとよいでしょう。

3 単元全体の学習の振り返りをする。

○ 物語を構成の面から読んで、自分の物語を書いたことについて振り返らせ、構成に注意して読むことも、物語の楽しみ方であることに気付かせる。

評価 物語を読んで、感想を交流し合い、感じ方の違いに気付いている。

ふりかえりカード

三年)

「組み立てを考えて物語を書こう」の学習をふりかえりましょう。

できた だいたいできた もう少し

三年とついで、あらすじマップを書くことができた。	
三年とついで、物語の組み立てがわかった。	
自分の物語のあらすじマップを書くことができた。	
自分の物語の組み立てを考えて、書くことができた。	
楽しく学習することができた。	

ふりかえりカード

三年)

「組み立てを考えて物語を書こう」の学習をふりかえりましょう。

できた だいたいできた もう少し

三年とついで、あらすじマップを書くことができた。	
三年とついで、物語の組み立てがわかった。	
自分の物語のあらすじマップを書くことができた。	
自分の物語の組み立てを考えて、書くことができた。	
楽しく学習することができた。	